令和5年度

COMPASS. 松山GREEN

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議日：令和5年10月27日
公表日：令和6年 2月26日

	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	5		個々の特性や課題によってプレイルームや個室等、基準より広い空間を利用することで、密になりないよう取り組むことができております。	十分なスペースを用意しておりますが、利用時間が重なると手狭感が否めないこともあるので、パーテーションを利用し、より良い環境となるように工夫してまいります。
	2	職員の配置数は適切である	5		配置数は基準より多く配置し、有資格者を配置させていただいております。	基準より多く配置していますが、利用児童の個性・特性を踏まえ、十分な配慮を行ってまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		現時点では車椅子利用の児童の利用契約はありませんが、室内、トイレはバリアフリーとなっており、車いすの移動にも対応できるようになっております。	生活空間は今後も個々個人の特性に応じた過ごしやすい環境であるよう安全面への配慮を行い、全ての児童の活動や支援に支障をなくし移動しやすい空間設定を心掛け、環境の整備に努めてまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		ケース会議、支援会議、リフレクション等、利用児童の成長やその日の気付きについて伝えあったり話し合ったりしています。職員が情報を共有し、業務改善に努めています。	今後も定期的な会議で、課題・目標を設定し、全員で情報の提供と実践に努めてまいります。
	5	保護者様向け評価表を活用するなどにおいてアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		定期的に保護者様にアンケート調査を行い、いただいた評価を共有し、検討することで、さらなる業務の改善に取り組んでおります。	今後もアンケートを継続し、保護者様のご意見に耳を傾け、業務改善に繋げてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や公式Web サイト等で公開している	5		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		定期的な研修により、職員の意識向上に努めております。	感染症対策や接遇マナー、虐待防止、療育方法等の社内研修を実施してまいります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		保護者様との面談を行いコミュニケーションを取ることで、現状の確認および課題について整理し、成長と発達に応じた計画を作成しております。	今後もアセスメントや家庭調査を取りながら保護者様との信頼関係を築き、ニーズや課題を把握し、個々に合った支援計画を作成してまいります。
	10	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		標準化したアセスメントツールを使用し、モニタリング時にはチェックシートを用いて児童の状況を把握し、支援計画の作成へと繋げております。	情報収集を正確に行い、今後も継続して適切にアセスメントツールを活用してまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		支援内容について職員間で話し合い、児童一人ひとりの特性に合った活動内容の見直しを行っております。	意見を出し合い、行事や活動を立案してまいります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		課題点の見直しや話し合いを行い、固定化しないように工夫しております。	全職員で情報を共有しながら、児童の状況や成長に適した課題に取り組んでまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をさわり組やかに設定して支援している	5		児童の状況に合わせ、それぞれの課題を設定して支援を行っております。 また、コロナの終息し野外活動なども積極的に取り入れています。	今後も保護者様の要望も取り入れ、さわ組やかな課題を設定するように努めてまいります。
	14	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5		児童の発達段階に合わせ、状況を把握しながら個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成しております。	個々に必要な療育活動は、多方面から考慮し、発達に応じた活動を計画してまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎朝利用予定に基づき、当該児童について職員が意見を出し合い、支援内容や役割分担を確認しております。	利用当日の流れや支援内容、役割分担について、情報共有の うえ支援に取り組んでまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		支援終了後は送迎等で全員参加にならないときもあります。支援の中で気付いたことや気になることなど職員間で伝え合い、共有しております。 共有内容は連絡ノートに記載し、不在の職員が何時でも確認できるようにしております。	今後も起こったことの共有を職員間で行い、どんなかさなことでも意見を出し合い、全員で振り返りを行ってまいります。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めている	5		体調を含め、療育内容の記録をとり、支援の検証・改善に繋げております。	今後も記録を継続し、気づきや課題等を職員間で話し合ってまいります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		定期的なモニタリングによって、児童の状況や課題などを確認し、保護者様のご意向を踏まえて個別支援会議を行い、支援計画の見直しを行っております。	今後も期間を問わず、必要に応じて保護者様と情報交換を行い、モニタリングの内容を支援計画に反映させてまいります。
	19	ガイドラインの組織的な基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5		ガイドラインに沿って適切な項目を選択し、支援を行っております。	今後もガイドラインに沿って、見直しを行い、児童や保護者様のご意向を反映した支援をしてまいります。
関係機関や保護者様との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に不の児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		担当者会議には、発育管や管理者、専門職員、保育士等が参加しております。	チーム一丸となって、より良いサービスが提供できるようにしてまいります。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5		現在、学校への送迎はありませんが、保護者様から行事予定のプリントを提示していただいております。	今後も必要に応じて、学校や保護者様と連絡を取り合い、いただいた情報は職員間で共有し、周知してまいります。
	22	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている		5	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		先方においての交流や意見交換には至っておりませんが、必要に応じて電話や担当者会議等を通して情報提供や情報共有を行い、支援方針を統一し、より良い支援に繋がるよう努めております。	今後も関係機関と連携して、情報共有と相互理解に努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		現在該当児はおりませんが、今後該当する児童が卒業する場合、移行した事業所等に情報を提供してまいります。	今後も該当者がいる場合には、保護者様から同意をいただいたうえで、就労支援事業所等に情報提供や助言等を行っています。
	25	児童発達支援センター や発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		専門機関との電話連絡や来所していただいており、連携を取らせていただいております。	積極的に関係機関の研修等に参加し助言を受けて、連携を取るように努めてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流などや地域との活動する機会がある		5	現時点で、事業所が企画する交流する企画や活動の機会を設けることができておりません。	保護者様の意向も伺いながら、イベント等の企画を検討してまいります。
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5	現時点では、参加機会を持つことができておりません。	研修や会議等に参加するように検討してまいります。
保護者様への説明責任等	28	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		連絡ノートや送迎時に保護者様からお話をお聞きしたり、事業所での様子や課題について共有しております。	引き続き、保護者様との情報共有を充実していき、共通理解に努めてまいります。
	29	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っている	5		お悩みや不安等の相談を受けた際には、真摯に受け止め、助言等を行っております。	連絡帳や送迎時、質問や不安・喜び等を共有し、共感しアドバイスを行い、寄り添う支援を行ってまいります。
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時には、重要事項説明書や利用契約書を通して、詳しく説明をしております。	ご質問があれば、その都度対応させていただいており、今後も分かりやすく丁寧な説明を心がけてまいります。
	31	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		相談しやすい環境づくりに心がけ、子育ての悩み等、保護者様の お気持ちに寄り添った支援を行っております。	今後も保護者様のお気持ちに寄り添い、適切な助言や支援に努めてまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している		5	現時点で、保護者会等の開催をする機会を持つことができておりません。	保護者様参加型行事の実施や、交流の機会などの検討をしてまいります。
	33	児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		苦情や申し入れをいただいた場合には、職員に周知し、ご理解と対応についての共通理解を図っております。	今後も、ご意見等には迅速な対応を行い、問題解決ができるように努めてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	5		公式Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしている他かに季節ごとの会報を発行しております。	継続して情報の発信を行い、活動内容を知っていただけるよう努めてまいります。
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	5		個人情報書類は、すべて書庫に保管しております。	施錠管理を徹底してまいります。
	36	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		生活に必要な約束は、絵等で見える化し、ジェスチャーなどを用いて、わかりやすく情報を伝えるように配慮しております。	お互いの情報が、スムーズに交換し合えるように努力してまいります
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	現時点では、事業所行事に地域住民を招待するような企画は行えておりません。	避難訓練や地域清掃等により、交流ができるように検討してまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		さまざまなマニュアル策定をしており、保護者様にも見やすい場所に掲示し、訓練を実施しております。	今後も保護者様にご案内していき、職員への周知徹底に努め、訓練を重ねてまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		年間計画を立て、定期的に訓練を行っております。	今後も定期的に訓練を実施し、職員、児童ともに迅速に対応できるよう防災意識を高める取り組みを行ってまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		職員研修は年間計画に取り入れ、虐待研修を実施しております。	虐待についての共通理解をして、虐待が起きないように職員に周知徹底を行ってまいります。
	41	どのような場合にやめを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		現時点で該当者はおりませんが、生命または身体を保護するために やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ保護者様の同意を得ることにしております。	身体拘束を避ける基本姿勢を守り、緊急時に限り、十分説明をして保護者様の同意を得て、個別支援計画にも記載してまいります。
	42	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	5		現在、アレルギーを持つ児童の利用はありませんが、保護者様より面談時に詳しく情報をいただいております。	今後も保護者様からの聞き取りを定期的に行い、適切な対応をしてまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		ヒヤリハットが発生した場合は、報告書を作成し、全職員で周知、共有して再発防止に努めております。	今後も、ヒヤリハットの事例をもとに、話し合いをして安全に過ごせられるようにしてまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。